

テクトロニクス IBC 2014 出展のご案内

テクトロニクスは、2014年9月12日から16日までオランダ、アムステルダムで開催される「IBC2014 (International Broadcasting Convention、以下 IBC2014)」に出展し、放送局、ポストプロダクションにおける品質モニタリングのために開発されたソリューションを展示します。

【テクトロニクス出展ブース】 ホール:10 ブース:D41

<展示製品>

【新製品】 制作、ポストプロダクション、放送マーケットの 4K ニーズに対応する

WFM8200/8300 型波形モニター、WVR8200/8300 型波形ラスライザ

テクトロニクスの WFM8200/8300 型波形モニター、WVR8200/8300 型波形ラスライザは、波形、ピクチャ、ベクトル、ガマット、アイ・パターンなどの多彩な測定、4 タイル表示が行える高性能な測定器であり、日本でも多くのお客様に導入されています。この総合的な測定機能により、短時間のうちにシステム上の問題や設計の問題点を検出、診断し、修正することができます。今回発表する新たなオプションによって、4K コンテンツを撮影、編集、配信するために、必ずしも高価な測定器を新規に購入する必要はなく、既存の機材を活用して将来的に容易に 4K 対応することが可能になります。

WFM8200/8300 型波形モニター、WVR8200/8300 型波形ラスライザは、ソフトウェアによるアップグレードが可能なプラットフォームを採用しており、4K コンテンツのスループット要求に応えることのできる、高性能アーキテクチャを使用しています。優れた性能、機能、アップグレード性を備え、機器メーカー、ポストプロダクション・ハウス、放送局、その他のビデオ・サービス事業者の 4K 要件に応えます。お客様は現在の要件に対応した機器の購入を続け、さらに必要に応じて 4K への本格展開のタイミングで簡単にアップグレードできます。このように、テクトロニクスは常に技術の最先端をリードするだけでなく、お客様の投資効果を最大化するための製品リリースを今後も行っていきます。

テクトロニクス、SPG8000 型マスタ・シンク/マスタ・クロック・リファレンス・ジェネレータに、Dolby® E、エンハンスド SMPTE ST 309 タイムコード機能を追加し、さらに GLONASS をサポート

SPG8000 型の新しい Dolby オーディオ・ジェネレータ・オプションは、最新の放送設備用の Dolby E オーディオ・リファレンス/テスト信号をサポートします。この信号には、組込むビデオ信号に対応したフレーム・レートによる、さまざまなレベルのテスト・トーンが含まれています。Dolby E オーディオ・フレームの開始位置をさまざまに設定でき、信号経路にある信号処理機器のエラー・ハンドリング能力がテストできます。Dolby E メタデータも Dolby E テスト・ストリームに挿入でき、信号処理機器のダウンストリーム性能がテストできます。Dolby E プログラム設定では、モノラル、ステレオ、5.1 および 7.1 サラウンド・サウンド・オーディオがサポートされます。SPG8000 型に Opt. SDI をすでにインストールしているお客様は、ソフトウェアのみのフィールド・アップグレード・キットをお求めいただくことで、この新しい Dolby オーディオ出力機能が追加できます。

テクトロニクスはさらに、SPG8000 型にエンハンスド SMPTE ST 309 タイムコードの追加を発表しました。これにより、放送設備のリファレンス・タイミング・アプリケーションのすべての LTC タイムコード出力に、年月

日の情報が追加できます。すでに SPG8000 型をご使用のお客様は、2014 年 10 月に予定されている新しいファームウェアにより、この新しいタイムコード機能が無償でご利用になれます。

すべてのタイムコード出力で正確な時刻基準として GLONASS (Global Navigation Satellite System) 信号を使用しているお客様は、SPG8000 型と Opt. GPS をお求めいただくことにより、GPS、GLONASS、または GPS と GLONASS 信号の両方の組合せによる高安定度の周波数にリファレンスできます。新規に SPG8000 型と Opt. GPS をお求めいただくと、GPS と GLONASS の両方がサポートされるハードウェアとファームウェアが装備されています。

テクトロニクス、MTS4EAV7 と PQA600B 型で 4K HEVC 符号化評価ツールを提供

配信サービスの増加、HD ビデオの普及、さらに HD フォーマット以上の台頭 (4k × 2k 解像度など) により、現状の H.264/MPEG-4 AVC 以上の符号化効率に対する要求が強くなっています。HEVC (High Efficiency Video Coding) は、既存コーデックと同程度の視聴品質を、約半分の帯域で配信できるように開発されました。

エンコーダ設計段階において、設計エンジニアは最適な符号化アルゴリズムを決定するために、ビデオ品質を比較するツールを求めています。テクトロニクスの MTS4EAV7 AVC/HEVC アナライザは、符号化ビデオの適合性を検証し、符号化効率の統計値を提供できるため、エンコーダ設計のデバッグ、検証に最適です。また、PQA600B 型はヒューマン・ビジョン・ベースの画質メトリクスである PQR (Picture Quality Rating、画質評価ランキング) と DMOS (Difference Mean Opinion Score、ディファレンシャル平均オピニオン・スコア) 測定により CODEC の画質を、視聴者体験に基づいた客観的な画質評価を実現します。MTS4EAV7 と PQA600B 型の組合せは、最新の CODEC 技術開発のエンジニアに最適なツールです。

テクトロニクスは、HEVC へ移行される放送局、ケーブル・テレビ事業者向けに新製品 MTS4SAV3 IP/トランスポート・ストリーム・アナライザを推奨します。最新のソフトウェア・バージョン V3 では、デファード・タイム/リアルタイム解析における HEVC と JPEG 2000 のサポート及び、MPEG、DVB、ATSC、ISDB-T など、さまざまな DTB 規格をサポートしています。

この新しいソフトウェア・ソリューションは、スタンドアロンの PC ベースでの解析ソフトウェア、または MTS4000 型 MPEG テスト・システムで利用できます。MTS4000 型 MPEG アナライザは DTB および IPTV をサポートしており、ネットワーク QoS をシームレスに解析し、改善する強力なツールです。

テクトロニクスの Cerify®、DPP 配信仕様のニーズをサポート

放送局のエンジニアやコンテンツ事業者は、コンテンツ問題を速やかに特定し、診断し、解決しなければなりません。テクトロニクスは Cerify ソリューションにおいて、イギリスの DPP (Digital Production Partnership) のテスト・ニーズに対応した機能を実現しました。DPP は、番組制作者や放送局がデジタル制作の潜在的なメリットを最大化するための業界イニシアティブです。

主な特長:

- AS-11 DPP シム必須メタデータのチェックとレポート
- すべての SD、HD、オーディオ・バリエーションにおける 1 つの DPP プロファイルでファイルを解析し、適切な DPP バリエーション・プロファイルを自動的に選択

- すべての DPP バリエーション (SD、HD、オーディオ・トラック) 用プロファイルを設定
- 検証レポート、PSE テスト証明書を自動生成
- ユーザは、シングル・ジョブおよび 1 つの Dropbox ですべての DPP ファイル・バリエーション・テストを実行可能
- すべての DPP プロファイルをインストール時に設定

追加検査:

- Harding FPA (光過敏性発作防止機器) による PSE テスト
- PSE のための個別 PDF 試験証明書
- R128 ラウドネス測定と正規化

テクトロニクス、新製品ポータブル波形モニタ WFM2300 型で設置／保守アプリケーションに対応

従来の放送設備では、エンジニアはシステム問題をできる限り迅速に検出、診断し、解決する必要があります。テクトロニクスは、受賞実績のある波形モニタのラインアップに、設置／保守アプリケーションに欠かせない機能を搭載したポータブル波形モニタの新シリーズを追加しました。

WFM2300 型は豊富な機能を搭載したポータブル波形モニタであり、従来からあるテクトロニクス波形モニタの機能に加え、総合的なアイ・パターン／ジッタ測定機能、ケーブル・シミュレータ／マージン・テスト機能なども装備しています。ケーブル・シミュレーション、マージン・テストはテクトロニクスの波形モニタ独自の機能であり、システムと同軸ケーブル・マージンがわかるため、伝送エラーが著しく増加するデジタル・クリフを防ぐことができます。

WFM2300 型には、オプションで 3G-SDI フォーマット・サポート、ANC データ解析、SFP (Small Form factor Pluggable) 光インタフェース・モジュール、Dolby E メタ・データ・モニタリング、LOUDNESS・メータ機能が用意されており、それぞれの設備の固有のニーズに柔軟に対応できます。さまざまな環境下で使用できるよう、大型で見やすい、LED バックライトの LCD スクリーンを装備しています。低消費電力設計のため長時間の使用が可能であり、バッテリー駆動でもあるため、現場または設備内でのトラブルシューティングに最適です。

テクトロニクスの MTS4EAV7 AVC/HEVC、米国の放送局／ケーブル・テレビ事業者向けにクローズド・キャプション規制適合に対応

今年、FCC は TV クローズド・キャプションを活用している視聴者が高品質で正確な番組を視聴できるよう、新しい規制を採用しました。[MTS4EAV7 AVC/HEVC](#) ビデオ／圧縮オーディオ・アナライザは、米国の放送局、ケーブル・テレビ事業者、その他のビデオ・サービス事業者向けに、クローズド・キャプション検査機能を装備しました。これにより、コンテンツにおけるクローズド・キャプションの問題を診断し、ビデオ・サービスで発生するエラー原因のチェックが可能になります。アップグレードされた MTS4EAV7 は業界規格をサポートしているため、キャプションを抽出し、問題をデバッグすることができます。

テクトロニクスは、ビデオ・コンテンツの品質検査以外にも、規制適合性のためのさまざまなビデオ・モニタリング製品を取り揃えています。さらに、クローズド・キャプションの規格適合性を確認するための、受賞実績のある波形モニタ／ラスタライザ、ビデオ・コンテンツ・モニタ技術を提供しています。テクトロニクスは、品質問題のために 1997 年、ビデオ・サービス事業者向けにクローズド・キャプションをモニタするように求めた変更など、クローズド・キャプションの要請に対応したソリューションのアップデートを常に行っています。

テクトロニクスについて

テクトロニクスは、計測およびモニタリング機器メーカーとして、世界の通信、コンピュータ、半導体、デジタル家電、放送、自動車業界向けに計測ソリューションを提供しています。65年以上にわたる信頼と実績に基づき、お客様が、世界規模の次世代通信技術や先端技術の開発、設計、構築、ならびに管理をより良く行えるよう支援しています。米国オレゴン州ビーバートンに本社を置くテクトロニクスは、現在世界22カ国で事業を展開しています。詳しくはウェブ・サイト(<http://www.tektronix.com/ja>)をご覧ください。

テクトロニクスの最新情報はこちらから

Twitter ([@tektronix_jp](https://twitter.com/tektronix_jp))

Facebook (<http://www.facebook.com/tektronix.jp>)

YouTube (<http://www.youtube.com/user/TektronixJapan>)

お客さまからのお問合せ先

テクトロニクス お客様コールセンター

TEL 0120-441-046 FAX 0120-046-011

URL <http://www.tektronix.com/ja>

報道関係者からのお問い合わせ先

テクトロニクス 広報室 瀬戸

電話: 03(6714)3097 Fax: 03(6714)3667

Email: seto.atsuko@tektronix.com

Tektronix、テクトロニクス、Cerify は Tektronix, Inc. の登録商標です。Dolby は、ドルビー・ラボラトリーズ・ライセンシング・コーポレーションの登録商標です。本文に記載されているその他すべての商標名および製品名は、各社のサービスマーク、商標、登録商標です。